

県立美術館 × 総合博物館(MieMu) × 総合文化センター 楽しさが倍になる!おすすめの過ごし方

展示やコンサートなど、さまざまな文化にふれることができる県立文化施設。他にも実はいろいろな楽しみ方ができます。いつも利用している方や、職員からの**おすすめ**を紹介します。



👉 過ごし方その① ここが穴場! 私だけのスポット

- 桜にツツジに紅葉。美術館の庭だけでも楽しめます
- MieMuのミュージアムフィールドでは、四季折々の花や昆虫、野鳥などを観察できます。三重県各地の石を使ったベンチや階段もあります
- 生涯学習センター3階の「みるシル」では県内外さまざまな学びの情報を紹介していますが、実は夕日の絶景スポットでもあるんですよ!



MieMu

👉 過ごし方その③ ご家族連れにおすすめ。子どもと一緒に楽しみたい

- MieMuのこども体験展示室は、遊びながら学べて最高に面白い!
- 総合文化センターでは「絵かきのコぱっく」をレンタルして館内で絵が描けます。また、託児つきの催しもたくさんあるよ
- 図書館の第1~第4土曜日の「おはなし会」。紙芝居やストーリーテリングなど、子どもと一緒に本の世界へ!



👉 過ごし方その② もっと知りたい

- 美術館、MieMuのギャラリートークがおすすめ。学芸員の解説を聞くと目から鱗。作品や資料の見方、楽しみ方の幅が広がります
- 図書館の英語多読コーナーの絵本や読み物。ほかではなかなか読むことができないものがたくさん。知らず知らずのうちに英語力がUpするかも



美術館

👉 過ごし方その④ ゆったりとした時を過ごしたい

- 美術館の美術情報室は、集中して読書ができる穴場です
- 土日は総合文化センターのお茶処「なごみ」でゆったりと。季節のお菓子も楽しみ
- MieMuの学習交流スペースでは、外の緑を眺めながら、学芸員おすすめの三重に関する本を読んでゆっくり過ごせます



なごみ

知っていますか?

展示室の中だけではなく、屋外やロビーなどにもたくさんの芸術作品があります。もっと文化施設を楽しむために、ゆっくり巡ってみましょう!

- ①作品名 ②作家 ③展示場所

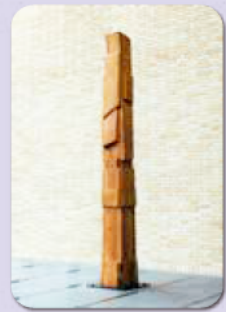
三重県立美術館



- ①作品91
②多田美波
③玄関前
鏡面仕上げが施された作品には、光や樹、人などが映りこみます。天候や時刻によって変化する表情も魅力のひとつです



- ①象と人(異邦の夢)
②八ツ木のぶ
③レストラン前
緑に囲まれた美術館で一際目をひく鮮やかな赤色の作品は、ゆるやかな動きとユーモラスな造形で親しまれています



- ①ふたたび翔べるか
一柱上の鳥
②江口週
③エントランス
樟の一木から彫り出された4mを超える作品。表面に残るノミ跡は素材の温もりを感じさせ、館内で独特の存在感を放っています

三重県総合博物館(MieMu)

- ①ミエゾウの壁画
②あべ弘士
③芝生広場へのピロティ
絵本作家のあべ弘士さんと三重の子どもたちが一緒になって描いた太古のミエゾウの親子と鳥たちの行進です



- ①三重の自然と歴史・文化のモビール
②いろけん
③館内階段吹き抜け
三重の自然や歴史・文化を題材に、くすっと笑える物語に仕立てた39種類のモビールです



- ①地中海
②石垣定哉
③3階学習交流スペース
ナポリ付近の美しいブルーの地中海を航行する大型客船と飛び交う白いカモメの大群が描かれています

三重県総合文化センター



- ①あかいだえん ②元永定正
③大ホール入口
伊賀市出身の元永さんの作品。あかいだえんは元気のしるし 私たちのかたちは楽しいかたち 陽気な唄をうたっている



- ①La Grande Temperance (中庸)
②ニキ・ド・サンファル
③フレンテみえ前
女神「ナナ」シリーズの一つ。壺から壺へ移し替えられる真紅の水は生命を表しています

- ①人生の風景 ②J. Mシルベント
③メインエントランス
中央の鉄の塔は高さ7m、重さ110t。周辺の石柱群はピレネー産の白御影石です



三重県総合文化センター

津市一身田上津部田1234
TEL:059-233-1111 (代表)
開館時間: 9:00~19:00
休館日: 月曜日 (祝日・国民の休日の場合は、その翌日以降の最初の平日)、
12月29日~1月3日
※県立図書館のみ毎月月末の平日及び特別整理期間も休館

三重県文化会館 チケットカウンター

TEL:059-233-1122 受付時間10:00~19:00

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

TEL:059-233-1130

三重県生涯学習センター

TEL:059-233-1151

三重県立図書館

TEL:059-233-1180(代表)

三重県立美術館

津市大谷町11番地
TEL:059-227-2100 (代表)
開館時間: 9:30~17:00
(入館は16:30まで)
休館日: 月曜日 (祝日・国民の休日の場合は、その翌日以降の最初の平日)
12月29日~1月3日

三重県総合博物館 (MieMu)

津市一身田上津部田3060
TEL:059-228-2283
開館時間: 9:00~19:00
(平日の展示室は17:00まで、展示室の最終入場は閉場30分前まで)
休館日: 月曜日 (祝日・国民の休日の場合は、その翌日以降の最初の平日)、
12月29日~1月3日

●交通のご案内(総合文化センター・MieMu 共通)

近鉄・JR線・伊勢鉄道「津駅」西口から徒歩約25分
鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車

バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分
タクシー 近鉄・JR線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分
自家用車 伊勢自動車道 芸濃インターから約15分 津インターから約10分 駐車場 無料

●交通のご案内

近鉄・JR線・伊勢鉄道「津駅」西口から徒歩約10分
鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車
バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約2分
タクシー 近鉄・JR線・伊勢鉄道「津駅西口」から約2分
自家用車 伊勢自動車道 芸濃インターから約20分 津インターから約10分 駐車場 無料

さいくわう 齋宮

平安時代を体感できる!おすすめの過ごし方

飛鳥時代から南北朝時代にかけて、天皇に代わり伊勢神宮に仕えるため都から派遣された未婚の皇女「齋王」の宮、齋宮。あなたも平安時代にタイムスリップ!

至 国道23号

齋宮歴史博物館

近鉄山田線
齋宮駅より
徒歩約15分

齋宮歴史博物館



「文字からわかる齋宮」「ものからわかる齋宮」をテーマにした展示室には、復元された齋王の居室や、齋宮の出土遺物が展示されています。
また、齋王群行や平安時代の齋宮の様子を再現する映像でわかりやすく学べます。
特におすすめ!
・土器の復元パズルはなかなか難しいけど、面白くてびっくりします
・齋王の食事や暮らしぶりがよくわかります

齋宮歴史博物館

多気郡明和町竹川1503
TEL:0596-52-3800 (代表)
開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日 (祝日・国民の休日の場合は、その翌日以降の最初の平日)、12月29日~1月3日
●交通のご案内 鉄道 近鉄山田線「齋宮駅」より徒歩約15分
自家用車 伊勢自動車道玉城インターから約20分
松阪・伊勢市内から約30分 駐車場 無料

さいくわう 齋宮



史跡公園「さいくわう平安の杜」

TEL:0596-52-7126(明和町役場齋宮跡・文化観光課)
平安時代前期、齋宮寮の長官が儀式などを行ったりした寮庁の中心的建物(正殿・西脇殿・東脇殿)や、幅約15mの区画道路を、発掘調査で発見された位置そのままに実物大で復元。また、平安の杜から齋宮歴史博物館に行く途中には、奈良時代につくられた古道「古代伊勢道」も復元されています。
特におすすめ!
・イベントに使える建物もあり、平安時代の雰囲気の中で楽しめます
・齋王が見ていた風景を思い浮かべながら、平清盛も通った道を歩いてみましょう



いつきのみや歴史体験館

TEL:0596-52-3890



特におすすめ!
・十二単や直衣など、本格的な平安装束の着用もできます。(要予約)
・いつき茶屋にいるガイドボランティアに、齋宮の裏話を聞きながら齋宮を巡ることができます

貴族の邸宅(寝殿造)を模した伝統的工法の木造建築の中で、小桂(十二単を簡略化したもの)の試着、盤双六や貝合わせの体験など、平安時代が体感できます。
と際には 1/10 史跡全体模型があり、方格地割を再現しています。

